

受領書

平成17年 5月26日
特許庁長官

識別番号 100116713
氏名(名称) 酒井 正己 様
提出日 平成17年 5月26日

以下の書類を受領しました。

| 項番 | 書類名 | 整理番号 | 受付番号 | 出願番号通知(事件の表示) |
|----|------|--------------|-------------|------------------|
| 1 | 国際出願 | 105140-WO-00 | 50500950574 | PCT/JP2005/ 9688 |

以 上

特許協力条約

b

発信人 日本国特許庁（国際調査機関）

| | |
|--|---|
| 出願人代理人 酒井 正己 | 殿 |
| あて名 〒 107 - 0052 日本国東京都港区赤坂4丁目13番5号赤坂オフィスハイツ | |

調査用写しの 受理の通知

〔PCT規則25.1〕

発送日（日．月．年）

07.06.2005

出願人又は代理人の書類記号

105140-WO-00

重 要 な 通 知

国際出願番号

PCT / JP2005 / -009688

国際出願日（日．月．年）

26.05.2005

優先日（日．月．年）

05.11.2004

出願人（氏名又は名称）

住友電気工業株式会社

1. 国際調査機関と受理官庁が同一の機関でない場合、

国際出願の調査用写しを国際調査機関が下記の日により受理したので通知する。

国際調査機関と受理官庁が同一の機関である場合、

国際出願の調査用写しを下記の日により受理したので通知する。

07 日 06 月 2005 年 （受理の日）

2. ☐ 調査用の写しには、コンピューター読取りが可能な形式によるヌクレオチド又はアミノ酸の配列表若しくは配列表に関連するテーブルが添付されている。

3. 国際調査報告及び見解書の作成期間

国際調査報告及び見解書の作成期間は、上記受理の日から3月又は優先日から9月のいずれか遅く満了する期間である。

4. この通知書の写しは、国際事務局及び上記第1項の第1文が適用される場合には受理官庁に送付した。

BEST AVAILABLE COPY

国際調査機関の名称及びあて名

日本国特許庁（ISA/JP）

郵便番号 100-8915 電話番号 03-3592-1308

日本国東京都千代田区霞が関三丁目4番3号

様式PCT/ISA/202（2004年1月）

権限のある職員

特許庁長官

特許協力条約

PCT

国際調査報告

(法8条、法施行規則第40、41条)
[PCT18条、PCT規則43、44]

| | | |
|--------------------------------|--|---------------------------|
| 出願人又は代理人 の書類記号 105140-W0-00 | 今後の手続きについては、様式PCT/ISA/220 及び下記5を参照すること。 | |
| 国際出願番号 PCT/J P 2005/009688 | 国際出願日 (日.月.年) 26.05.2005 | 優先日 (日.月.年) 05.11.2004 |
| 出願人(氏名又は名称) 住友電気工業株式会社 | | |

国際調査機関が作成したこの国際調査報告を法施行規則第41条(PCT18条)の規定に従い出願人に送付する。
この写しは国際事務局にも送付される。

この国際調査報告は、全部で 3 ページである。

☐ この調査報告に引用された先行技術文献の写しも添付されている。

1. 国際調査報告の基礎

a. 言語は、下記に示す場合を除くほか、この国際出願がされたものに基づき国際調査を行った。

☐ この国際調査機関に提出された国際出願の翻訳文に基づき国際調査を行った(PCT規則23.1(b))。

b. ☐ この国際出願は、ヌクレオチド又はアミノ酸配列を含んでいる(第I欄参照)。

2. ☐ 請求の範囲の一部の調査ができない(第II欄参照)。

3. ☐ 発明の単一性が欠如している(第III欄参照)。

4. 発明の名称は ☒ 出願人が提出したものを承認する。

☐ 次に示すように国際調査機関が作成した。

5. 要約は ☒ 出願人が提出したものを承認する。

☐ 第IV欄に示されているように、法施行規則第47条(PCT規則38.2(b))の規定により
国際調査機関が作成した。出願人は、この国際調査報告の発送の日から1カ月以内にこ
の国際調査機関に意見を提出することができる。

6. 図面に関して

a. 要約書とともに公表される図は、

第 _____ 図とする。 ☐ 出願人が示したとおりである。

☐ 出願人は図を示さなかったため、国際調査機関が選択した。

☐ 本図は発明の特徴を一層よく表しているため、国際調査機関が選択した。

b. ☒ 要約とともに公表される図はない。

A. 発明の属する分野の分類 (国際特許分類 (IPC))

Int.Cl.⁷ C30B29/04

B. 調査を行った分野

調査を行った最小限資料 (国際特許分類 (IPC))

Int.Cl.⁷ C30B29/04、C23C16/26-16/27

最小限資料以外の資料で調査を行った分野に含まれるもの

| | |
|-------------|------------|
| 日本国実用新案公報 | 1922-1996年 |
| 日本国公開実用新案公報 | 1971-2005年 |
| 日本国実用新案登録公報 | 1996-2005年 |
| 日本国登録実用新案公報 | 1994-2005年 |

国際調査で使用した電子データベース (データベースの名称、調査に使用した用語)

JSTPlus (JOIS)

C. 関連すると認められる文献

| 引用文献の カテゴリー* | 引用文献名 及び一部の箇所が関連するときは、その関連する箇所の表示 | 関連する 請求の範囲の番号 |
|-----------------|---|------------------|
| A | JP 2003-277183 A (住友電気工業株式会社) 2003.10.02 実施例、(ファミリーなし) | 1-21 |
| A | JP 2002-299741 A (住友電気工業株式会社) 2002.10.11 [0036]-[0079]、(ファミリーなし) | 1-21 |

C欄の続きにも文献が列挙されている。

パテントファミリーに関する別紙を参照。

* 引用文献のカテゴリー

「A」 特に関連のある文献ではなく、一般的技術水準を示すもの
「E」 国際出願日前の出願または特許であるが、国際出願日以後に公表されたもの
「L」 優先権主張に疑義を提起する文献又は他の文献の発行日若しくは他の特別な理由を確立するために引用する文献 (理由を付す)
「O」 口頭による開示、使用、展示等に言及する文献
「P」 国際出願日前で、かつ優先権の主張の基礎となる出願

の日の後に公表された文献
「T」 国際出願日又は優先日後に公表された文献であって出願と矛盾するものではなく、発明の原理又は理論の理解のために引用するもの
「X」 特に関連のある文献であって、当該文献のみで発明の新規性又は進歩性がないと考えられるもの
「Y」 特に関連のある文献であって、当該文献と他の1以上の文献との、当業者にとって自明である組合せによって進歩性がないと考えられるもの
「&」 同一パテントファミリー文献

国際調査を完了した日

12.08.2005

国際調査報告の発送日

30.8.2005

国際調査機関の名称及びあて先

日本国特許庁 (ISA/JP)
郵便番号100-8915
東京都千代田区霞が関三丁目4番3号

特許庁審査官 (権限のある職員)

宮澤 尚之

電話番号 03-3581-1101 内線 3416

4G

9278

<調査の対象について>

請求の範囲1に記載された発明は、「1主面から2つの互いに直交する直線偏光の合成とみなされる直線偏光を照射して、対面の主面から出射した2つの互いに直交する直線偏光の位相差が、結晶全体にわたり、結晶厚さ100 μ mあたり最大50nm以下である」というパラメータにより発明を特定しているが、当該パラメータは当該技術分野で通常用いられているパラメータでないため、出願時の技術常識を考慮してもそのようなパラメータで特定される単結晶ダイヤモンドの範囲を特定できないから、請求の範囲はPCT第6条における明確性の要件を欠いている。

よって、調査は、明細書に具体的に記載されている試料B～Dと同様な製造方法により得られた単結晶ダイヤモンドについて行った。

BEST AVAILABLE COPY